



馬本 英一

日本テクノ
取締役社長

経済同友会 つながる▶▶

リレートーク
#245

「みらいの働き方」を創る



岡本 祥治

みらいワークス
取締役社長

「日本をもっと知りたい」、30歳を目前に控えたころ、そんな思いに駆られ47都道府県に足を運びました。学生時代にやりたいことが見つからず、さまざまな業界を見ながら短期間で自分のスキルを伸ばせる場として、外資系コンサルティング会社のアクセンチュアを選び新卒で入社。しかし、20代が終わろうとしているのにまだやりたいことが分からない状況に焦りを感じたのも、旅に出た理由の一つでした。

実際に全国を巡り自分の目で見たのは、文化、食、人、歴史など素晴らしいものがたくさんある一方で、地方経済が確実に元気を失っていつている日本。そんな経験から「日本を元気にしたい」と強く思い描くようになり、その志を実現するために2007年に起業しました。

さまざまな土地へ実際に赴く活動は、ライフワークとして今も続けています。世界にも幅を広げ、渡航した国は74カ国に。そして世界を知れば知るほど日本の良さを再確認し、同時に「日本はもっと元気になるポテンシャルを秘めている」と強く感じるようになりました。

そのポテンシャルを引き出すきっかけとなり得るのが「働き方改革」です。OECD加盟国36カ国中21位と、日本は労働生産性が低い国といわれていますが、それは改善余地が大きいとも解釈できます。安倍政権が「働き方改革実現推進室」を設置して2年以上が経ち、国や企業でさまざまな取り組みもなされています。しかし、いまだ道半ばであり、残業制限やリモートワークなど画一的な改革をする動きが多いと感じます。

フリーランス人口が1,000万人を超える中、弊社はプロ人材のフリーランスや起業家に特化したマッチングサービスを運営していますが、その働き方やライフスタイルに対する価値観の多様性には驚かされることもあります。

労働人口が減少していくのはもはや明白な事実。企業が働く人を選ぶのではなく、働く人から選ばれるように企業が努力しなければならない時代が到来します。企業は多様な働き方を受け入れ、それぞれの価値観に応じた働き方を選択できる環境を用意することが求められるのではないのでしょうか。

▶▶ 次回リレートーク

林 雅也

ソフトクリエイティブホールディングス
取締役副社長